



NPO法人 中部リサイクル運動市民の会

不用品をゴミにしないで「リユース&チャリティ」



皆さんは家庭でいらなくなった不用品をどうしていますか。きちんと分別してリサイクル(再資源化)することはもちろん大切ですが、まだ使えるようなもの場合は、リユース(再使用)するほうが環境負荷を減らすことができることが多いです。

そこで、NPO法人中部リサイクル運動市民の会(以下、中部リサイクル)では、家庭で不用になった品物を地域で譲り合う「リユースの仕組みづくり事業」に取り組んでいます。

中部リサイクルでは平成3年よりスーパーの駐車場などで資源回収拠点「リサイクルステーション」を運営していますが、平成22年より「リユース&リサイクルステーション」と改名し、資源だけでなく、家庭から出るまだ使える不用品(衣類・食器類・鍋やかん類・本など)のご寄付も受け付けることにしました。この「リユース&リサイクルステーション」は現在、名古屋市内



に44ヶ所あり、平成22年度は約15万件の持ち込みがありました。

「リユース&リサイクルステーション」でご寄付いただいた不用品は、名古屋市内

区にある「エコロジーセンター Re☆創庫(りそうこ)」という施設で市民リサイクラー(ボランティア)の方々によって仕分け・値付けをされ、施設内のリユースショップ「Re☆ショップ」において地域住民の方々に安価で販売されます。また、一部の「リユース&リサイクルステーション」では無料配布しています。この仕組みによって、平成22年度は約4万3千点の不用品が地域でリユースされました。



平成22年度のRe☆ショップの収益は残念ながら赤字でしたが、今年度こそは収益を出して、その収益を全額、環境活動やその他の分野の社会貢献活動に還元していきたいと考えています。

リユース(再利用)とリサイクル(再資源化)は、私たちが暮らしの中で気軽に取り組める環境行動です。中部リサイクルでは、リユースの仕組みを名古屋市全域に広げることで、人々の「ものを大切にしたい」という想いを受け止め、そこから生まれる収益をこの地域における持続可能な社会づくりに役立てたいと考えています。

ホームページ <http://www.es-net.jp/>

NPO法人 森と水辺の技術研究会

流域の保全に関わる調査・研究・環境教育



NPO法人 森と水辺の技術研究会は、平成12年から、里山林の整備活動や長良川を始めとする河川環境を考えるワークショップ、流域保全のシンポジウム、環境教育の支援などを行ってきました。



石田川で環境教育講座(岐阜大学)

その中で、環境問題や流域の保全に関して課題として「人と自然」「流域」「人と人」「世代」など、いろんなつながりが分断されていることを強く感じています。現在、分断されたつながりを戻そうと、自然体験や環境教育を中心に「人づくり」の活動を行っています。

地域や学校で、小・中学生に対する、環境に関する教育や自然体験活動が行われていますが、高校へ入ったとたんに受験という活動が主となり、今までの蓄積が無用になってしまっています。

平成18年に、高校生がNPOなどの環境活動ヘイターシップとして参加するという活動を始めました。少しずつ定着してきて、仕組みとなっている高校もあります。

そこに関わってくれた学生さんたちや、その活動を引き継いでくれている学生さんたちと、今年の4月の高校生や大学生を対象とした「未来塾2050」を開塾しました。

これは、小・中学生で築いた土台の上に生き方をちゃんと考えようとしている学生さんたちに自ら学び考える場を提供しようという塾です。運営も塾生たちが主となって行っています。

今後は、家庭や地域での環境意識や自然、世代のつながりをさらに進めることができるように「お子さんをお持ち



板取川の源流探検

の親」を対象にした、「親のための環境塾」を開催したいと考えています。



未来塾2050